



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
 コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長洲 崇彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毛利 正人

TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	49,388	1.9	530	18.9	674	14.7	439	16.7
2019年3月期第2四半期	50,351	7.1	653	21.9	790	20.3	527	25.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 79百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 1,076百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.62	
2019年3月期第2四半期	21.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	58,684	23,738	40.5
2019年3月期	63,001	23,971	38.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 23,738百万円 2019年3月期 23,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.00		7.00	14.00
2020年3月期		7.00			
2020年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	5.4	1,190	13.6	1,440	14.5	960	14.1	38.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	25,168,000 株	2019年3月期	25,168,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	192,677 株	2019年3月期	226,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	24,954,448 株	2019年3月期2Q	24,941,825 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が緩やかに続く一方、海外景気の減速に伴う輸出の減少により生産に弱含みの動きが見られました。

当社グループに関係の深い業界につきましても、通商問題や中国経済の先行き、原油価格の上昇懸念等により生産に慎重な姿勢が強まっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、当事業年度より新中期経営計画「Go forward STAGE2」を始動させ、前中期経営計画「Go forward STAGE1」で築き上げた土台を基に将来の飛躍に向けた成長軌道を切り開くことを目標としております。その達成のため、国内市場においては収益基盤の徹底強化を図るとともに、新たなビジネスチェーンの構築を目指し、海外市場においては中国・ASEAN地域における、更なる市場の開拓を図っております。これらの基本方針を掲げ、当連結累計期間からの事業活動に注力してまいりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高493億8千8百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益5億3千万円（同18.9%減）、経常利益6億7千4百万円（同14.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億3千9百万円（同16.7%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは取扱数量の減少により減収となりました。その他の商品では、マンガン化合物が輸出の増加により、また次亜塩素酸ソーダが市況の回復により増収となりましたが、塩素酸ソーダ及びアルミニウム化合物は取扱数量の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、フロン溶剤が洗浄剤用途で好調であったことにより増収となりましたが、その他の石油化学製品は取扱数量の減少により減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ1.5%減の368億8千万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ3.4%減の12億1千万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、ポリプロピレンフィルム及びナイロンフィルムは中国向け輸出の増加により増収となりましたが、複合フィルムは取扱数量の減少により減収となりました。

合成樹脂につきましては、工業用製品が輸出の増加により増収となりました。

機器類につきましては、包装関連機器と電気関連機器が大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ3.4%減の113億2千8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ7.6%減の2億7千4百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.2%減の11億7千9百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ13.6%減の3千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億1千7百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が7億7千9百万円増加し、受取手形及び売掛金が46億9百万円、投資有価証券が7億1千9百万円それぞれ減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が39億1千3百万円減少いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が5億1千5百万円減少いたしました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億7千6百万円増加し99億1千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは12億4千5百万円の増加となりました。これは税金等調整前四半期純利益が6億7千4百万円でありましたが、売上債権の減少が45億9千9百万円、仕入債務の減少が39億1千1百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億9千1百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4千5百万円、無形固定資産の取得による支出2億4千万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億7千1百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払額1億7千4百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済の見通しにつきましては、輸出を中心に弱さは残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかに回復するものと期待されます。その一方で、米中貿易摩擦の激化や海外経済の減速等のリスク要因もあり、先行き不透明な状態は継続するものと思われま

す。このような事業環境のもと、当社グループは引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、財務体質の強化と経営の効率化を図り、収益力の向上に向けて邁進する所存でございます。

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年5月9日付公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,281	10,061
受取手形及び売掛金	38,011	33,402
商品及び製品	1,131	1,098
その他	513	791
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	48,904	45,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	439	421
車両運搬具(純額)	9	10
土地	1,087	1,087
その他(純額)	126	145
有形固定資産合計	1,663	1,664
無形固定資産		
	409	402
投資その他の資産		
投資有価証券	11,338	10,618
その他	702	699
貸倒引当金	△17	△20
投資その他の資産合計	12,023	11,297
固定資産合計	14,097	13,363
資産合計	63,001	58,684

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,508	25,595
短期借入金	5,071	5,075
未払法人税等	287	255
賞与引当金	263	275
役員賞与引当金	34	17
その他	662	757
流動負債合計	35,827	31,976
固定負債		
繰延税金負債	1,406	1,190
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	1,071	1,077
長期預り保証金	523	501
その他	7	6
固定負債合計	3,202	2,969
負債合計	39,029	34,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,140
利益剰余金	12,607	12,872
自己株式	△64	△54
株主資本合計	19,435	19,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,417	3,902
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	148	148
為替換算調整勘定	27	15
退職給付に係る調整累計額	△55	△50
その他の包括利益累計額合計	4,536	4,017
純資産合計	23,971	23,738
負債純資産合計	63,001	58,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	50,351	49,388
売上原価	46,932	46,089
売上総利益	3,418	3,299
販売費及び一般管理費	2,764	2,768
営業利益	653	530
営業外収益		
受取利息及び配当金	140	155
その他	20	19
営業外収益合計	160	175
営業外費用		
支払利息	18	19
売上割引	2	4
その他	2	6
営業外費用合計	23	30
経常利益	790	674
税金等調整前四半期純利益	790	674
法人税、住民税及び事業税	266	239
法人税等調整額	△3	△3
法人税等合計	262	235
四半期純利益	527	439
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	527	439

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	527	439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	566	△515
繰延ヘッジ損益	10	2
為替換算調整勘定	△31	△11
退職給付に係る調整額	2	5
その他の包括利益合計	548	△519
四半期包括利益	1,076	△79
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,076	△79
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	790	674
減価償却費	48	90
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	14
受取利息及び受取配当金	△140	△155
支払利息	18	19
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△614	4,599
たな卸資産の増減額 (△は増加)	293	30
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,432	△3,911
その他	375	7
小計	2,224	1,371
利息及び配当金の受取額	139	155
利息の支払額	△18	△17
法人税等の支払額	△343	△265
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,002	1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33	△3
有形固定資産の取得による支出	△28	△45
無形固定資産の取得による支出	△103	△240
投資有価証券の取得による支出	△10	△11
敷金及び保証金の差入による支出	△6	△2
敷金及び保証金の回収による収入	23	6
その他	△24	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1	-
配当金の支払額	△174	△174
その他	△5	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182	△171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,622	776
現金及び現金同等物の期首残高	7,553	9,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,175	9,912

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	37,430	11,726	1,193	50,351	—	50,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,212	1,212	△ 1,212	—
計	37,430	11,726	2,406	51,564	△ 1,212	50,351
セグメント利益	1,253	297	43	1,593	△ 939	653

(注) 1. セグメント利益の調整額△939百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	36,880	11,328	1,179	49,388	—	49,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,157	1,157	△ 1,157	—
計	36,880	11,328	2,337	50,546	△ 1,157	49,388
セグメント利益	1,210	274	37	1,522	△ 992	530

(注) 1. セグメント利益の調整額△992百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。